



ウサギは、なぜはねるの

にげ足の速さがウサギの武器

ウサギは、強い前足とか、するどいきばなど、身を守る武器になるものをもっていません。しかも、ワシやタカなどの鳥や、キツネなどの敵から、見つけやすい草原でくらしています。ちょっとでも早く敵に気づき、速く走って敵からにげだすしか、身を守る方法はありません。

そこで、ウサギは、音をいち早く聞く長い耳をもち、すばやくにげられる、強い後ろ足をもつようになったといえます。

足がはねやすい形に

ウサギは、イヌやネコが歩くのと同じように、4本足で歩くこともできます。でも、この歩き方だと、スピードは出せません。細い前足に比べて、後ろ足は大きく長く、足の裏も、地面をぴよんと、力強くけるような形になっています。

やはり、すごいスピードでぴよんぴよんはねてとぶ、カンガルーと、後ろ足の形などが似ています。強い後ろ足で、ぴよんとひとつとびして、長いきよりを進めるほうが、速く走れるわけです。

すばやく走れる理由はさまざま

チーターのように全身の筋肉が、すごい速さで走れるようにできている動物もいれば、トムソンガゼルのように、細い長い足をもっていて、スピードを出せる動物もいます。ウサギは、後ろ足でとびはねることで、すばやく走れるのです。（監修・今泉 忠明）

